2023年度　日本工学院専門学校

声優・演劇科

作品研究I

対象	２年次	開講期	前期	区分	選択	種別	講義	時間数	60	単位	4
担当教員	宮下明日香・平野真悟 佐々木彩・成田浬			実務経験	有	職種	演劇制作、俳優、声優、タレントマネジメント				

担当教員紹介

日本テレビエンタープライズにて、イベント制作・中継を担当。
AM・FMでラジオ番組全般を担当。

授業概要

映画、舞台、TVドラマ等の作品を上映、作品を理解する上でのポイントを解説し毎回取り扱った作品についてのレポートを提出する。上映作品はカテゴリーにより１～4作品程度を上映し、テーマが近いものや同一人物が違う作品に出演するなど作品を比較し演出方法、演技手法、監督や演出家、表現形態等、様々な視点から作品を読みとり解説する。また、学外で作品を観る機会を作り実際作品に関わった人物の講演を実施する。

到達目標

・作品に対して自身の意見を持てるようになる。
・自分ならどう演じるか想像できる力をつける。
・自身が演じるのに適性が高いキャラクターを見極める力を付ける。
・構成、展開、演出、脚色、翻案等、作り手の意図を理解、推測する力を付ける。
※上要素を総合し作品（台本）からのメッセージを受け演技者の役割を認識し意思を持った表現を意識できるようになる

授業方法

毎回授業にて資料を配布、視聴し、解説を行う。

成績評価方法

レポート　　50%　内容、意見により評価
小テスト　　20%　理解度より評価
平常点　　30%　積極的な授業参加、授業態度によって評価

履修上の注意

監督、演出家、脚本家、俳優、声優など学外の方の講義は先方のスケジュールに合わせることがある為、予定されている授業が入れ替わることがある。
授業時数の４分３以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

教科書教材

毎回授業にて資料配布を行う

回数	授業計画
第1回	邦画①　ビジネスモデル一つの作品が出来るまで外郭と製作の理解
第2回	邦画②　同一監督の映画と舞台の形式で表現を比較し映画と舞台の特徴を知る
第3回	邦画③　同一作品異形式の検証。出演者の関係。出演者起用についての理解
第4回	邦画④　同一俳優他作品の検証。違う作品で共通点、相違点を見出す
第5回	アニメ作品①　作品公開時の時代背景と出演者の解説を通し自身が演じるイメージを持つ

2023年度　日本工学院専門学校	
声優・演劇科	
作品研究I	
第6回	アニメ作品②　作品公開時の時代背景と出演者の解説を通し自身が演じるイメージを持つ
第7回	アニメ作品③　作品公開時の時代背景と出演者の解説を通し自身が演じるイメージを持つ
第8回	アニメ作品④　作品公開時の時代背景と出演者の解説を通し自身が演じるイメージを持つ
第9回	洋画①　無声映画、喜劇の鑑賞。音のない映画の表現手法を学ぶ
第10回	洋画②　1950年代～2010年代までの映画を鑑賞し年代別の傾向を知る
第11回	洋画③　1950年代～2011年代までの映画を鑑賞し年代別の傾向を知る
第12回	洋画④　1950年代～2012年代までの映画を鑑賞し年代別の傾向を知る
第13回	戦争映画①　あらゆる表現形態であらゆる作品にテーマとして取り上げられる戦争について知識を得る
第14回	戦争映画②　あらゆる表現形態であらゆる作品にテーマとして取り上げられる戦争について知識を得る
第15回	戦争映画③　あらゆる表現形態であらゆる作品にテーマとして取り上げられる戦争について知識を得る